

伊豆分場の見学

7～9月にかけて5件の施設見学対応の依頼があり、伊豆の漁業についての説明、飼育魚への餌やりやシラスに混じっている他の魚類である「チリメンモンスター（チリモン）」探しを中心に対応させていただきましたので、その時の様子をお知らせします。

1 県立下田高校生徒が来場

7月28日に県立下田高校の理数科および自然科学部員の生徒12人が来場しました。目的は漁業に関連した専門業務の実態に触れることで、理数分野に関心のある生徒の進路意識の向上を図るためとのことです。

当日は伊豆分場の業務と伊豆の漁業について、簡単に説明をした後、当场近くに設置している「プエルルス幼生コレクター」からイセエビの幼生を採集する様子を見学とチリモン探しを行いました。当日は、運良く幼生が採集され、生徒たちは興味深く観察をしていました。また、チリモン探しも熱中して行っていました。



写真1 チリモン探し

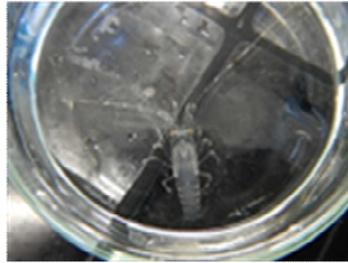


写真2 イセエビのプエルルス幼生
(透明で透き通っている)

2 こどもわーく夏祭り in 伊豆半島の対応

日本財団による「海と日本PROJECT」の一環で、7月23日から8月28日にかけて「こどもわーく夏祭り in 伊豆半島」と題して、伊豆半島各所で小学生等を対象とした海の仕事体験のイベントが行われていました。当场も協力依頼を受け、8月7日に「水産研究員のお仕事をしよう！」として、参加した子どもたち8人に飼育魚（マダイ、ブリ、イサキ、メジナ）への餌やり、キンメダイの体長測定や年齢査定体験などを行っていただきました。キンメダイの年齢査定では、耳石という頭蓋

骨内にある石状の組織を取り出すところから体験し、耳石の年輪を読むことで年齢査定を行ってもらいました。子どもたちはいずれの作業も熱心に、そして楽しんで取り組んでいました。



写真3 飼育魚の餌やり



写真4 キンメダイの年齢査定

3 子育てサポーター養成講座の対応

下田市や市社会福祉協議会では「子育てサポーター養成講座」として、地域の子どもをみんなで子育てする視点にたち、子育てする親子や、家庭を応援するために必要な知識の習得を目指す講座を開催しています。8月26日には「磯の危険生物、伊豆の漁業について知ろう！」として講座対応の依頼をいただき、対応させていただきました。

当日は一般参加者と市や社会福祉協議会職員11人が参加し、ハオコゼやヒョウモンダコなどの磯の危険生物とキンメダイ漁業や定置網などの伊豆の漁業について説明をした後に、チリモン探しも体験してもらいました。なお、磯の危険生物は当场HPに紹介しております。磯遊びをする際に参考にいただければと思います。

URL : https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu/creature/4-1-3_dang.html



写真5 当场HP「磯の危険生物」



写真6 チリモン探し

4 東京都荒川区立尾久八幡中学校生徒の来場

9月6日には東京都から荒川区立尾久八幡中学校の生徒17人が来場しました。当場では、伊豆の漁業や魚に馴染んでもらうために、伊豆の漁業の説明を行い、飼育魚の餌やり体験やチリモン探しを行ってもらいました。特にブリは餌をあげると飛び跳ねるため、生徒たちは大興奮でした。



写真7 飼育魚への餌やり



写真8 チリモン探し

5 県立漁業高等学園の来場

静岡県では次世代の漁業の担い手を育成する「県立漁業高等学園」を運営しています。9月14日に学園の生徒23人が下田市場にてキンメダイの水揚げの見学を行い、漁協職員の方からキンメダイ漁について説明を受けた後、当場に訪れました。

当場では伊豆地域の漁業について説明を行った後、当場で飼育している魚類等の見学や餌やりを行いました。また、県立下田高校と同じくプエルルス幼生コレクターの観察を行いました。今回は残念ながら幼生の採集はありませんでした。代わりに当場で飼育している幼生の見学を行い、生徒たちは、興味深く観察を行いました。



写真9 プエルルス幼生コレクター



写真10 採集物の観察

今回の見学を通して、参加した皆様が少しでも水産業への理解が得られたのであれば幸いです。

(高田伸二)